

社会資本総合整備計画

事後評価書

令和03年03月26日

計画の名称	延岡市における安全・安心な下水道施設づくり（防災・安全）（重点計画）													
計画の期間	平成30年度 ～ 平成31年度（2年間）												重点配分対象の該当	○
交付対象	延岡市													
計画の目標	第6次延岡市長期総合計画の基本目標である「安心・安全な暮らしを支える地域づくり」「快適で機能的な都市環境づくり」の達成のために、南海トラフ巨大地震、台風、集中豪雨等による大規模災害に備えるべく、施設の耐震化・耐津波化対策、浸水対策事業を推進し、市民が快適な生活を送ることが出来るよう、安全・安心な下水道施設づくりを目指す。													
全体事業費（百万円）	合計（A＋B＋C＋D）		996	A	994	B	0	C	2	D	0	効果促進事業費の割合C／（A＋B＋C＋D）	0.2	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		(H27末)	(H30末)	(H31末)
1	下水道による都市浸水達成率を45.9%（H27）から46.3%（H31）に増加させる。			
	下水道による都市浸水達成率 （浸水対策完了済み面積（ha）／浸水対策を実施すべき面積（ha））	46%	46%	46%
2	重要な下水処理施設における地震対策実施率を32.5%（H27）から34.1%（H31）に増加させる。			
	重要な下水処理施設における地震対策実施率 （耐震性能が確保されている施設数（施設））／（重要な下水処理施設数（施設））	33%	34%	34%
3	重要な下水処理施設における津波対策実施率を0.0%（H27）から100.0%（H31）に増加させる。			
	重要な下水処理施設における津波対策実施率 （耐津波性能が確保されている施設数（施設））／（重要な下水処理施設数（施設））	0%	100%	100%
4	マンホールトイレの整備率を0.0%（H27）から25.5%（H31）に増加させる。			
	マンホールトイレ整備率 （マンホールトイレ設置済み箇所（基数））／（マンホールトイレを設置すべき箇所（基数））	0%	0%	26%

備考等	個別施設計画を含む	△	国土強靱化を含む	－	定住自立圏を含む	－	連携中枢都市圏を含む	－	流域水循環計画を含む	－	地域再生計画を含む	－

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
下水道事業	A07-001	下水道	一般	延岡市	直接	延岡市	管渠（ 雨水）	新設	松山地区雨水幹線整備（ 浸水対策）	幹線L=0.8km	延岡市	■	■				249		－
	A07-002	下水道	一般	延岡市	直接	延岡市	管渠（ 雨水）	新設	松山地区雨水枝線整備（ 浸水対策）	枝線A=7.6ha	延岡市	■	■				120		－
	A07-003	下水道	一般	延岡市	直接	延岡市	管渠（ 雨水）	新設	西階地区雨水幹線整備（ 浸水対策）	幹線L=0.1km	延岡市	■					10		－
	A07-004	下水道	一般	延岡市	直接	延岡市	管渠（ 雨水）	新設	富美山地区雨水幹線整備 （浸水対策）	幹線L=0.1km	延岡市	■	■				22		－
	A07-005	下水道	一般	延岡市	直接	延岡市	管渠（ 雨水）	新設	平原地区雨水枝線整備（ 浸水対策）	枝線A=2.3ha	延岡市	■	■				60		－
	A07-006	下水道	一般	延岡市	直接	延岡市	管渠（ 雨水）	新設	川原崎地区雨水幹線整備 （浸水対策）	幹線L=0.1km	延岡市	■	■				41		－

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
下水道事業	A07-007	下水道	一般	延岡市	直接	延岡市	管渠（ 雨水）	新設	愛宕地区雨水枝線整備（ 浸水対策）	枝線A=7.9ha	延岡市	■	■				131		－
	A07-008	下水道	一般	延岡市	直接	延岡市	ポンプ 場	新設	富美山雨水ポンプ場新設 （浸水対策）	雨水ポンプ	延岡市	■	■				26		－
	A07-009	下水道	一般	延岡市	直接	延岡市	管渠（ 合流）	改築	合流地区管渠耐震化対策	マンホールトイレ（下部）N= 5基、管口耐震化N=22箇所	延岡市	■	■				32		策定済
		総合地震																	
	A07-010	下水道	一般	延岡市	直接	延岡市	終末処 理場	改築	妙田下水処理場耐震化対 策	場内ポンプ棟等	延岡市	■	■				200		策定済
		総合地震																	
	A07-011	下水道	一般	延岡市	直接	延岡市	終末処 理場	改築	妙田下水処理場防水化対 策	電気設備、新電気棟	延岡市	■	■				103		策定済
		総合地震																	
											小計						994		
										合計						994			

C 効果促進事業																				
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
下水道事業	C07-001	下水道	一般	延岡市	直接	延岡市	管渠（ 合流）	改築	合流地区マンホールトイレ整備	マンホールトイレN=5基（便座、テント）	延岡市		■				2		策定済	
		基幹事業である管渠耐震化対策と併せてマンホールトイレ整備を一体的に行うことにより、災害発生時における避難施設の早急な機能強化を図る。																		
		総合地震																		
												小計						2		
											合計						2			

事 後 評 価

○事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
延岡市において、数値目標の達成状況を検証した。	令和2年度
	公表の方法
	市のホームページにて公表

○事業効果の発現状況

定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	雨水整備の実施による浸水解消に努めた。 重要な下水道管きょ及び処理施設における地震対策を実施し、耐震性の向上に努めた。 重要な下水道処理施設の津波対策を実施し、耐津波性の向上に努めた。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	

○特記事項（今後の方針等）

下水道ストックマネジメント計画を継続し、下水道管きょ及び処理施設の長寿命化を目指す。 雨水冠水常襲地区の整備を継続し、雨に強い街づくりを目指す。 下水道管きょ及び処理施設の耐震・耐津波化を継続し、地震災害に強い街づくりを目指す。
--

○目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値／実績値		目標値と実績値に差が出た要因
1	下水道による都市浸水達成率		
	最 終 目標値	46%	
	最 終 実績値	46%	
2	重要な下水道処理施設における地震対策実施率		
	最 終 目標値	34%	下水道処理施設の耐震診断の実施により、新たに耐震性が確認された施設が増加した。
	最 終 実績値	39%	
3	重要な下水道処理施設における津波対策実施率		
	最 終 目標値	100%	
	最 終 実績値	100%	
4	マンホールトイレ整備率		
	最 終 目標値	26%	津波浸水想定に加え、河川洪水に係る浸水想定区域が公表されたことから、整備箇所の見直しが必要となったため、目標値と実績値に差が生じた。
	最 終 実績値	0%	